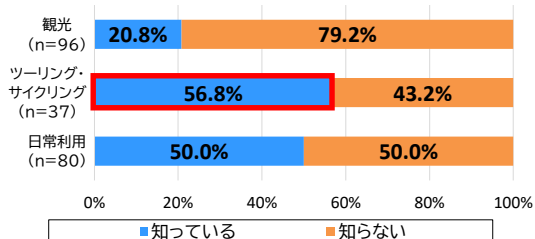


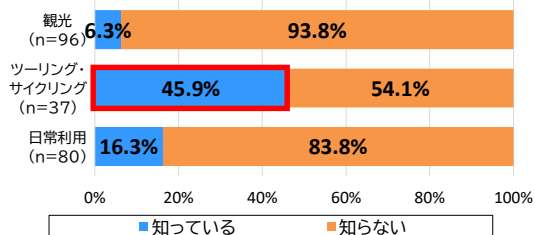
アンケート調査結果

○認知度

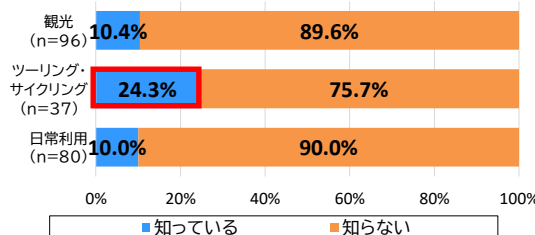
京奈和自転車道



ならクルルート

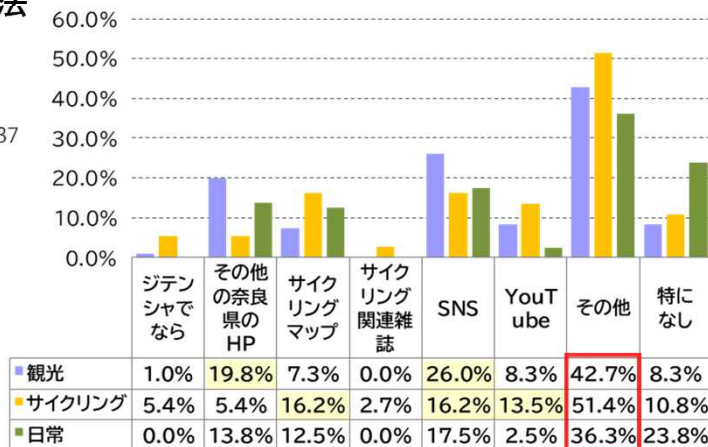


世界遺産周遊ルート



○情報入手方法

観光N=96
サイクリングN=37
日常N=80



課題

認知度

- 京奈和自転車道の認知度は比較的高い
- ツーリング・サイクリング目的:認知度が高い
- 一方で、観光目的の方の認知度は総じて低い

↓
認知度の向上を図る取組が引き続き必要

情報入手方法

- 観光目的:HPやSNSでの情報入手が多い
- サイクリング目的:サイクリングマップのほか、SNS、YouTubeでの情報入手が多い
- その他内訳はデジタルマップやサイト検索での情報入手が多い

↓
一定のニーズがあるサイクリングマップの配布とともに、デジタル情報の充実が必要

今後の方向性(案)

- ターゲットに応じた周知方策(周知の時期・場所・媒体の工夫)の検討・実施

【措置1-3-1自転車などの情報発信の充実】

- ・HPやSNSによるアクセス分析ツール等を活用した効果的な情報発信
- ・観光情報のHPなどでの情報発信
- ・インバウンドの状況に応じた情報発信の多言語化
- ・音声案内等、観光周遊案内の情報発信



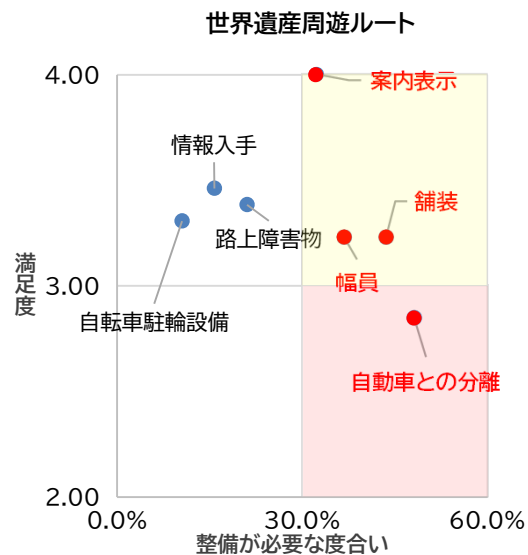
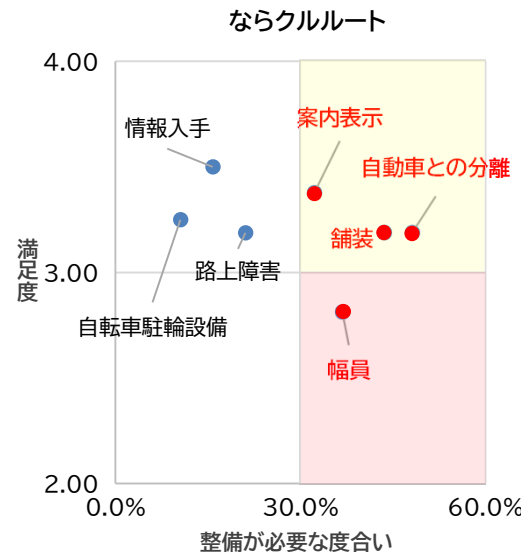
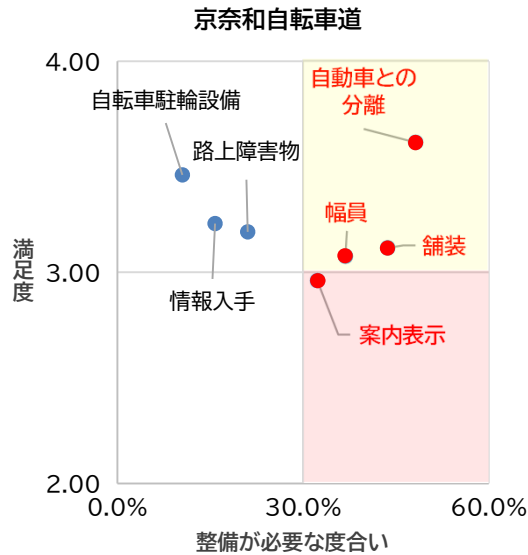
サイクリングマップ

今後の方向性(案)について

アンケート調査結果

○整備が必要な度合い(横軸)と満足度(縦軸)

●:課題項目
●:その他の項目



【グラフ内文字の凡例】
 事前情報：事前の情報の入手のしやすさ
 案内表示：ルートの分かりやすさ
 幅員：走行環境（幅員）
 舗装：走行環境（舗装）
 路上障害物：草木、路上駐車等障害物
 自動車との分離：自動車との分離等安全性
 自転車駐輪設備：サイクルスタンド等の自転車駐輪設備設置施設数

課題

3つのサイクリングルートは共通して、走行環境(自動車との分離、舗装、幅員)、案内表示が課題

↓
 安全で快適な走行環境を確保する必要がある

今後の方向性(案)

■走行環境に係る不具合箇所の改善における安全性の向上

【措置1-1-1広域的な周遊観光サイクリングルートの改善】
 ・自転車通行空間の明示等による走行環境改善など
 ・デジタルマップでの案内強化



▲自転車通行空間の明示

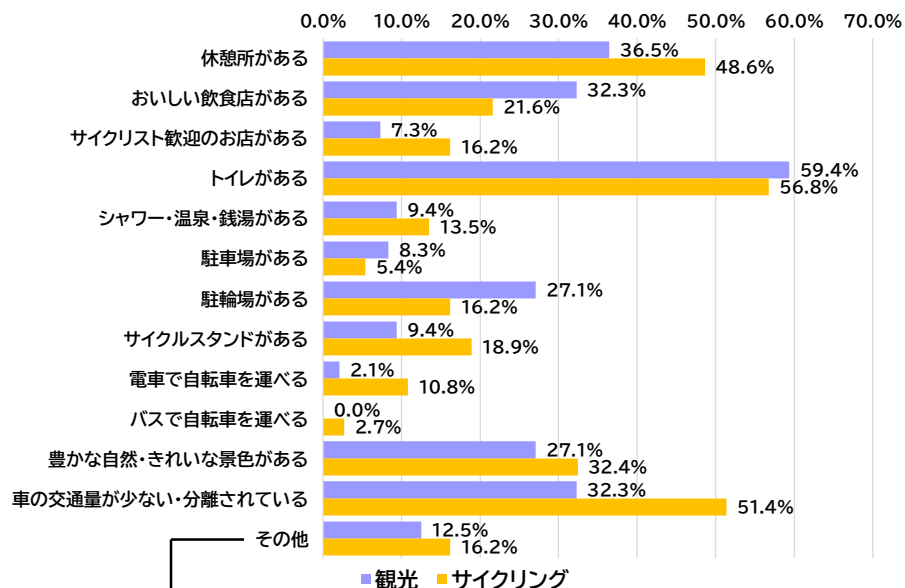


▲側溝の改良等による安全性の向上（イメージ）

今後の方向性(案)について

アンケート調査結果

〇ルートを選ぶ際の重要な要素



【その他の意見】

コンビニ
 坂道の有無
 自転車専用道を増やす
 自販機
 走りやすさ
 大きな案内板があると良い
 無料の空気入れある場所
 日常使いしやすいと良い
 日陰の建物が欲しい
 大きい荷物を預かってもらう場所
 安価な駐車場
 病院の有無
 道がきれい
 電源が無料で使える場所
 専用のナビで寄りやすいか

課題

- 施設面では観光、サイクリングともにトイレ、休憩所、おいしい飲食店、駐輪場が重要な要素
- その他の面では、車の交通量が少ない・歩車分離されていることや豊かな自然・きれいな景色があることを重視

↓
自転車利用者が求める施設や楽しみ方の充実が必要

今後の方向性(案)

■自転車の休憩所、サイクリストにやさしい宿等の認定の推進

【措置1-2-3自転車を利用した周遊観光を支える拠点施設の充実を図るため、認定の推進】

- ・ならクル・サポーターの認定推進
- ・利用者目線のならクル・サポーター認定条件の見直しによる施設の充実
- ・豊かな自然・きれいな景色を再発見できる仕組みづくり
- ・広報啓発活動の推進

自転車の休憩所

- 『自転車の休憩所』は、自転車利用者の皆様がサイクリング中に気軽に立ち寄って休憩していただける施設です。
- 現在186施設あります。(令和6年11月時点)



サイクリストにやさしい宿

- 『サイクリストにやさしい宿』は、自転車を安心して屋内に保管でき、自転車搬送サービスの取次可能な宿泊施設です。
- 現在57施設あります。(令和6年11月時点)

- ① 自転車を安心して屋内に保管
 - そのままの状態でもしくは搬送袋等に収納した状態で、客室に持ち込み可能
 - そのままの状態でも、一般客の立ち入らない施設可能な場所、もしくは玄関やロビーで保管可能
- ② 自転車搬送サービスの取次
 - 宿泊者が送った自転車の受取や保管、滞在後の自転車発送の取次が可能



サイクリストにやさしい駐車場

- 『サイクリストにやさしい駐車場』は、車で来られるサイクリストが、駐車場を無料で利用可能な施設です。
- 現在8施設あります。(令和6年11月時点)



※ 施設では以下のいずれかのサービス(無料)が受けられます



今後の方向性(案)について

【措置2-1-1】市町村版自転車活用推進計画・自転車ネットワーク計画等への策定支援

- 国土交通省より、自転車ネットワーク計画の更なる策定に向けて、令和8年度より、都道府県ごとに自転車ネットワーク計画調整会議の設置を推進
- 令和7年度10月に国土交通省、奈良国道事務所、奈良県、広陵町(自転車ネットワーク計画策定済み)、にて、準備会を開催。策定における問題点として、小規模自治体では自転車通行に関する調査や計画策定自体が負担、などの意見があった
- 県内市町村を対象に「自転車活用推進計画」に関するアンケート調査(令和7年3月)を実施(32市町村回答)
 - 【策定の予定・検討の有無】
 - ・策定予定1町(広陵町)、他の市町村と連携を検討6市町(奈良市、御所市、斑鳩町、三宅町、上牧町、下市町)、公共交通利用促進の一環として策定を検討6市町(奈良市、御所市、宇陀市、斑鳩町、三宅町、下市町)
 - 【期待される支援】
 - ・先進事例の紹介、計画策定に関する説明会、策定を想定した補助メニューなどの支援



計画策定における支援や情報提供など、自転車ネットワーク計画調整会議などを利用し、更なる支援を展開

【措置2-2-1】サイクルポート設置に向けた施設管理者への働きかけ

- 令和7年度に奈良県道路脱炭素化推進計画(仮)の策定を予定しており、サイクルポート設置を計画に位置付ける予定



道路区域内のサイクルポート設置に向けて検討・設置を推進